

NEWS RELEASE

関西国際空港株式会社

経営戦略室広報 G

TEL : 0724-55-2201

FAX : 0724-55-2052



2006年（平成18年）4月11日

ジェットスターの関西国際空港乗り入れについて

本日4月7日、カンタス・グループの低コスト航空会社 ジェットスターが関西国際空港へ乗り入れる計画を別紙の通り、発表しました。

今回の就航は、2006年3月に関西経済連合会 インドネシア・オーストラリア使節団派遣時に、関空エアポートプロモーションとして秋山関経連会長（関西国際空港全体構想促進協議会会長）と当社村山社長がジェットスターと会談し、プロモーションを行った結果、本日の乗り入れ表明に至りました。

ジェットスターは日本に初就航となります。

（参考）

路線 : 関西 = ブリスベン = シドニー = 関西

就航時期 : 2007年3月（計画）

使用機材 : エアバス A330-200 （スタークラス38席 エコノミー265席 計303席）

（2008年後半から2009年にはボーイング787に切り替える予定）

お問い合わせ先
関西国際空港株式会社
航空営業部
TEL : 0724-55-2109



ホームページ <http://www.kansai-airport.or.jp>



本プレスリリースは、大阪経済記者クラブ、大阪府政記者会、関西国際空港記者会、国土交通省記者会ならびに国土交通省交通運輸記者会で同時に配布しております。

報道関係者各位

2006年4月11日
Jetstar Airways Pty Limited

オーストラリアの航空会社ジェットスターが 関西国際空港への乗り入れ計画を発表

【2006年4月11日 シドニー／大阪発】 カンタス・グループの航空会社、ジェットスター（本社メルボルン、最高経営責任者アラン・ジョイス (Alan Joyce)）は、本日リーガロイヤルホテルで記者会見を行い、同社が関西国際空港株式会社と長期就航について合意したことを明らかにし、関西国際空港への乗り入れを発表しました。

今回の長期就航についての合意は、関西国際空港と関西国際空港全体構想促進協議会の構成団体である関西経済連合会（関経連）および大阪府の協力のもとに実現したものです。

ジェットスターのブルース・ブキャナン商業部門担当ジェネラル マネジャー (Bruce Buchanan) が出席した本日の記者発表は、関西国際空港株式会社の村山敦代表取締役社長のほか、関西国際空港全体構想促進協議会の秋山喜久会長（関経連会長）、大阪府の正木裕にぎわい創造部長が同席し、共同記者会見の形式で行われました。また会見には、在大阪オーストラリア総領事館 マイケル・クリフトン総領事も同席しました。

カンタス・グループは、今回の就航合意とあわせ、ジェットスターが大阪・シドニー間（復路ブリスベン経由）にエアバスA330-200型機を毎日就航させる許可を本日正式に申請しました。

ジェットスターは、当局の許可が下り次第、2007年3月からシドニー・関西国際空港間（復路ブリスベン経由）で、2クラスのフライトを毎日運航する計画です。なお、この便の運航開始時の料金は、日豪両政府の許可が下りるのを待って、2006年6月に発表する予定です。

当初の機材はA330-200型機を使用。シート数は、プレミアムキャビンであるスタークラスの38席を含み、計303席です。2008年後半から2009年には、同路線の航空機を新型ボーイング787に切り替えて運航する予定です。

ジェットスターの国際線サービスには次のような特長があります

- Jetstar.comでオンライン座席予約で座席選択が可能
- 革張りのシート（スタークラス、エコノミークラスとも）
- 国際便乗り換え時の乗り継ぎサービス（乗り換え先の航空会社によります）
- ビデオ・オン・デマンド
- カンタスクラブ会員は、空港のカンタスラウンジを利用可能
- ジェットスターの全てのフライトは、カンタスとのコードシェア便です

ブルース・ブキャナン ジェネラル マネジャーは今回の発表で次のように述べています。

「ジェットスターは、長距離国際線で、エコノミークラスとスタークラスの2クラスのサービスを提供します。スタークラスは、カンタス航空国内便のビジネスクラスとほぼ同様のシート仕様であり、特典として、座席の電源、カンタス・フリークエント・フライヤー・ポイントとステイタス・クレジット、食事、ビデオ・オン・デマンドが含まれています。また、日本路線運航にあたっては、日本語を話せる乗務員の雇用を予定しています。」

また、「ジェットスターは、今後運航する路線においても市場で最も安い料金を提供するという信念を持っています。今回のシドニー・大阪ルート(復路ブリスベン経由)の就航時料金と機内サービスの内容は、6月発表予定です」と語っています。

ジェットスターはカンタス・グループの航空会社で、現在はオーストラリア国内便とニュージーランドからの国際便を合わせて20地点を結び、週1,000便を運航しています。今回の日本乗り入れは、2006年11月に開始予定のオーストラリアからの長距離国際便就航計画の一環です。

ジェットスターはまず12機を使用し、オーストラリアとアジア太平洋の各都市を結ぶ2地点間フライトのルート・マップを構築。その後、ヨーロッパや他の目的地に向かって、1地点を経由して行くルートを開発する計画です。

ジェットスターの最高経営責任者であるアラン・ジョイス(Alan Joyce)は、「今回発表した新たな展開によって、カンタス・グループは国際線航空旅行に新鮮かつオープンなアプローチをもたらすだろう」と述べています。

今回の発表にあたり、ブキャナン商業部門担当ジェネラル マネジャーは、関西国際空港との今回の就航合意は、関経連、大阪府との緊密な協力によって実現したとコメントし、次のように述べました。

「ジェットスターの日本就航の実現をサポートして下さった関西国際空港、ならびに、関経連と大阪府に心から感謝しています。3者が協力してサポートしてくれたおかげで、当社は関西国際空港への国際便就航に向けて、非常に強力な土台を作り上げることができました。関西地方は、オーストラリア人観光客にとって魅力的な訪問地であると同時に、産業の中心地の一つでもあります。すでに日本を訪れる外国人観光客の5人に1人が関西国際空港経由で入国しており、当社では外国人観光客のさらなる増加にも役に立ちたいと考えています。シドニー・大阪ルートの就航は、オーストラリアに入国する日本人渡航者の増加回復に向けたカンタス・グループの積極的な努力の一環でもあります。」

以上

本件に関するお問合せ先:

バーソン・マーステラ(広報代行会社) 森下真千子

Tel: + 81 3 3264 6701

E-Mail: machiko_morishita@jp.bm.com

Simon Westaway

General Manager of Corporate Relations

Jetstar Airways (Australia)

Tel: +61 (0) 401 994 627

E: simon.westaway@jetstar.com

ジェットスターに関する情報は、www.jetstar.com にてご覧ください。

ジェットスターについて

オーストラリア メルボルンに本社をもつジェットスターは、カンタス・グループの航空会社で、カンタス航空の完全子会社です。2004年2月にオーストラリアで設立されたジェットスターは、2004年5月に営業就航しました。ジェットスターは現在、ゴールドコースト、ブリスベン、ケアンズを中心とするオーストラリアのほとんどの大都市をつないでおり、20地点に週1,000便近いフライトを行っています。また2005年12月には、タスマン海を越えてニュージーランドと結ぶ国際便の運航を開始しました。ジェットスターは現在、エアバス A320 型機 21 機を運航し、ボーイング 717 型機も引き続き 6 機を運航しています。オーストラリア国内便とニュージーランド便では、2006年6月までに全機(23機)を A320 型に入れ替えるほか、航空営業許可書を、機体の幅の広いジェット機を運航できる許可書にアップグレードする予定です。暫定的に機体の幅の広い A330-200 型機 6 機を運航し、やがて、ボーイングの新型機 787 型 12 機に移行する計画です。ジェットスター初の B787 機は 2008 年 8 月に配備される予定です。オーストラリアからの長距離国際運航サービスは、大阪(日本)、ホーチミン(ベトナム)、バンコクおよびプーケット(タイ)、そしてホノルル(米国)を予定しています。